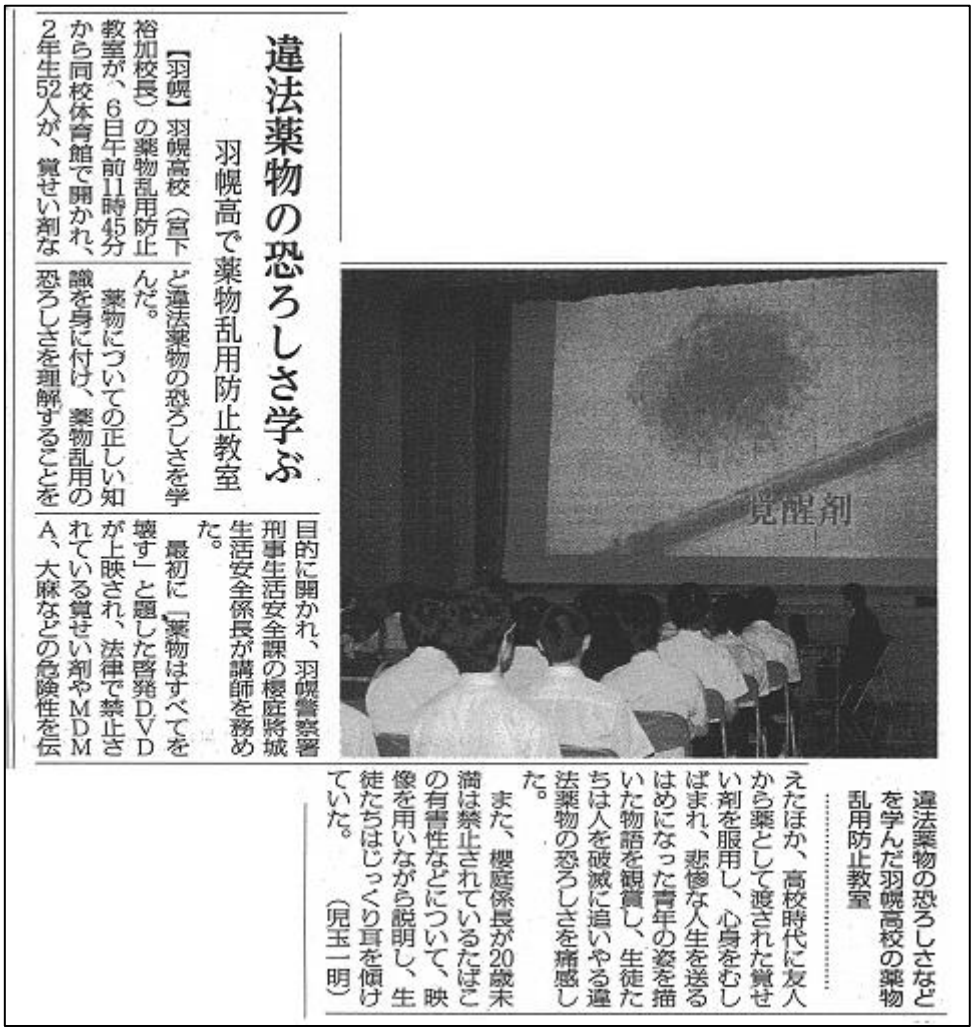
【日刊留萌(7 月 14 日号)に掲載されました】

本校体育館で２学年を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。講師として羽幌警察署刑事生活安全課の櫻庭將城様をお招きして、覚せい剤などの違法薬物の恐ろしさについて学びました。

講話を聞いた生徒たちは、「どのくらいの年齢から薬物を使ってしまった人はいるのか」「薬物を使ってしまった人は実際どのような様子なのか」と質問をして、より知識を深められたようでした。

お話ししていただきました羽幌警察署の櫻庭將城様、ありがとうございました。



違法薬物の恐ろしさ学ぶ

羽幌高で薬物乱用防止教室

【羽幌】羽幌高校（宮下裕加校長）の薬物乱用防止教室が、6日午前11時45分から同校体育館で開かれ、2年生52人が、覚せい剤など違法薬物の恐ろしさを学んだ。

薬物についての正しい知識を身に付け、薬物乱用の恐ろしさを理解することを目的に開かれ、羽幌警察署刑事生活安全課の櫻庭將城生活安全係長が講師を務めた。

最初に「薬物はすべてを壊す」と題した啓発DVDが上映され、法律で禁止されている覚せい剤やMDMA、大麻などの危険性を伝えたほか、高校時代に友人から薬として渡された覚せい剤を服用し、心身をむしばまれ、悲惨な人生を送るはめになった青年の姿を描いた物語を観賞し、生徒たちは人を破滅に追いやる違法薬物の恐ろしさを痛感した。

また、櫻庭係長が20歳未満は禁止されているたばこの有害性などについて、映像を用いながら説明し、生徒たちはじっくり耳を傾けていた。（児玉一明）

違法薬物の恐ろしさなどを学んだ羽幌高校の薬物乱用防止教室